

週刊 タバコの正体

タバコを吸い始めニコチン依存症になってしまうと、毎日どこかで喫煙しなければならなくなります。タバコの煙や加熱式の水蒸気に含まれる有害成分は喫煙者の周りに広がるので、周りの人にも毎日

タバコの被害が及びます。空気中に広がった有害成分は見えませんが、左図のような健康被害の可能性があるのです。とりわけ身近な家族がその被害にあふ確率は大きくなります。

興味本位でタバコを吸い始めてしまうと、自分自身はもちろん周りの人もタバコに苦しめられる事になります。そんなリスクがある事を心にとめておいて下さい。

産業デザイン科 奥田恭久

受動喫煙が与える影響

小さな子どもは、たばこの煙によって深刻な影響を受ける可能性があります！

呼吸器感染症、気管支喘息、中耳炎、注意力散漫、言語能力の低下、身体発育の低下

高血圧、脳卒中、動脈硬化、肺がんなどのがん、気管支喘息

たばこを吸わない周りの人の健康にも悪影響を及ぼします。

たばこは、喫煙者の衣類や髪の毛にも臭いが残り、喫煙後の吐く息には、有害物質が含まれます。大切な家族のためにも禁煙にチャレンジしましょう！

小田原市 HP「禁煙対策」から

たばこで苦しめられているのは誰？



1 喫煙者本人

やめたくてもやめられない。
ニコチン依存症。
たばこの一番の被害者です。



2 子どもなど家族や周りの吸わない人全員

職場や家庭など生活の場におけるタバコの煙から逃げられません。

解決策は



禁煙しよう！
3日やめれば禁断症状はおさまります。
なんどもチャレンジして、禁煙を達成しよう！
みんなで一緒に禁煙しよう！

他人の生命や健康を害する権利は誰にもないことから、喫煙者は他人が煙を吸うことがないようにしなければなりません。
みんなで空間の禁煙化を進めて、「たばこのない社会」を作りましょう！



Dr.TABUCHIの
「そうだ！禁煙しよう！」
Vol.6

田淵 貴大
大阪府立成人病センター
医師・医学博士

※まずはたばこによる被害の実態の認識が必要です。参考文献：厚生労働省、受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会報告書 2009 他 ※画像の一部は結核予防会より。

枚方市薬剤師会「禁煙関連資料」から